

(別紙 2 - 1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 25 年 2 月 25 日

【事業所概要 (事業所記入)】

事業所番号	4292400035		
法人名	医療法人 NANO グループ		
事業所名	グループホーム なずな		
所在地	〒854-0407 長崎県雲仙市千々石町庚 1297-1		
自己評価作成日	平成 25 年 1 月 28 日	評価結果市町受理日	平成 25 年 3 月 12 日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 URL	
--------------	--

【評価機関概要 (評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構		
所在地	〒855-0801 島原市高島二丁目七二一七 島原商工会議所一階		
訪問調査日	平成 25 年 2 月 14 日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点 (事業所記入)】

経営が医療法人の為、日中は併設の施設に看護師が常駐し、夜間はクリニックに 24 時間常駐しているので医療面での緊急は素早く対応できる。又、週 1 回医師が往診に来られる。併設のデイサービスの利用もできるので利用者は閉じこもることなく、のびのびとした生活ができる。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点 (評価機関記入)】

地域の人達に古くから親しまれている猿葉神社、橘公園に程近い所に立地し、医療法人を母体に持ち医療と介護の両面で支えているホームである。管理者は利用者の笑顔と家族からの感謝の言葉とやりがいを感じると話され、ホームの大切にしている。“利用者の立場に立つて”を職員と共に共有し実践されている。開設から 6 年目と迎えるが、ホームの知名度が少し低いと考え、市役所の電光掲示板を利用するとともにパンフレットを配布する等、ホームをより多くの人に知ってもらう為の努力をされている。管理者や職員の地域交流に向けた日頃からの取り組みによって地域の中でのケアの拠点としてこれから期待されるホームである。

1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所独自の理念は無いが法人全体での理念が有り、職員みんなで実践できるよう心掛けている。	法人の理念を掲げ実践されている。職員は自分の介護理念を自己評価し、それを管理者が人事考課をすることで振り返りができている。職員の優れた所を活かしながら、お互いに切磋琢磨して質の向上を図っている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の回覧板が届くようにしている。又、地域清掃や学校の運動会など参加している。	自治会への加入はないが、公報紙を配布してもらい、情報の共有を図っている。併設の事業所と合同で地域の人を招待したり文化祭への出品や近隣に有事の際のお願いに廻る等、関係づくりに努力されている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の人々に向けては行えていないが、家族の方々に向けて活かしている。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	情報交換ができるよう取組みたいが、あまり意見がない。	市の担当者、民生委員等の出席を受け開催されている。出席者の避難訓練への参加予定があるが、現在では、主に活動状況報告にとどまり、意見を運営に反映する迄には至っていない。	ホームの状況を知ってもらう中で取組みや課題に加え、例えば災害への備え等についても具体的に掘り下げて話し合う事で、出席者から率直な意見を頂き、サービス向上に活かされる事に期待したい。
5	4	市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域の福祉事務所など日頃から関わっているが、これといった情報交換はない。	公的扶助や入居の問い合わせ等相談しながら、協力関係を築くように努力されている。また、連絡協議会への入会もある。今後さらに情報を共有しながら、積極的な協働関係を構築したいとされている。	

6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>全職員が理解し夜間以外は玄関の施錠は行っていない。利用者の行動に合わせ付き添い見守りを行っている。</p>	<p>身体保護の為、やむを得ない場合のみ、家族に説明し、同意の上行う場合があるが、基本的には身体拘束はしない方針である。職員は、研修に参加し身体拘束の内容とその弊害を認識されている。</p>	
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>研修など積極的に参加し、全職員で防止に取り組んでいる。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>現在取り組んでいない。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>不安や疑問に対して、理解・納得していただけるよう説明を行っている。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情や要望があれば全職員で話し合いを行っている。また玄関に意見箱を設置している。</p>	<p>苦情相談窓口を設置し、傾聴の姿勢を明示すると共に、常に問いかけ、何でも言ってもらえるように配慮されている。来年度に家族アンケートを実施される予定である。</p>	
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>その都度、管理者が報告したり、会議などで報告するようにしている。又、職員からの意見や提案なども受け入れて運営に活かしている。</p>	<p>管理者は、毎月の職員会議に限らず、利用者に日々関わる中で生まれる職員の気付きや提案はいつでも聞く姿勢である。食事の席の配置やサービスに対する気付き等、反映した例は多い。職員は、自分の介護理念を持ち、利用者に接している。</p>	

12	<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>管理者が職員の努力・実績・勤務状況を把握し随時報告している。又、職員個々に仕事を与え向上心を持って働けるよう努めている。</p>		
13	<p>職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修などがある時は、法人内外問わず積極的に参加するようにしている。</p>		
14	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>独自では取り組んでいないが、連絡協議会に入会しており研修や交流会に参加している。</p>		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>利用者本人から要望などは無く、家族から要望や相談があれば対応している。</p>		
16	<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>要望等があればその都度相談を受け、必要ならば話し合いの場を設け、信頼関係を築いている。</p>		
17	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>利用者の状態を把握し、その人にあった支援を見極め状態によって併設のデイサービスの利用も進めている。</p>		

18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>家庭的な雰囲気・環境作りに努め、職員と一緒に作業を行い利用者が力を発揮できるよう努めている。</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>面会や来所された際、近状や状態など説明・報告している。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>近所の方など面会に来て下さったり仏様参りなど家族に協力していただけるよう努めている。</p>	<p>家族の協力を得て、仏様参りをされる利用者もいる。正月は、帰省される利用者はいなかったが、多くの家族の面会があった。面会が遠のいている家族には、請求書を出す機会を利用し、面会依頼の手紙を添える等、関係が途切れない様に支援されている。</p>	
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者が孤立しないよう職員が配慮し支援している。又、利用者同士が助け合えるよう関係性など会議で話し合っている。</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>現在、取り組めていない。</p>		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>生活していく中で把握し、職員全員で検討している。</p>	<p>日々の中で尋ねたり行動や表情から把握し、本人の視点に立って、全職員で意見を出し合い、検討されている。</p>	

24		<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入所前に本人や家族から情報を得ようとしている。又、職員が日々新たな情報を得られるよう心掛けている。</p>		
25		<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>職員一人一人で得られる情報が違うので、会議などで情報交換を行うようにしている。</p>		
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画は立てているが、利用者や家族からもう少し意見・要望を聞き出せるよう取り組みたい。</p>	<p>介護計画は全職員が意見を出し合い作成されている。日々の記録は介護計画に沿った記述になっていない部分がある為、別に援助目標に毎日チェックをする様にされている。</p>	<p>日々の記録は、介護計画と連動したものが望ましい。介護計画に沿った記述や日々利用者に関わる中でのケアの気付き等を記載されることに期待したい。</p>
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別の計画はあるが、気づきや工夫などの記載は少ないが職員同志で話し合いを行っている。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々に見えるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>外出などで要望があれば送迎を行っている。訪問看護ステーションが同法人の為、連携は整っている。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>町内の回覧など定期的に貰っている。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>母体が医療法人の為、入所時に主治医を変更していただくよう説明している。眼科・皮膚科・歯科などはかかりつけを受診していただいている。</p>	<p>本人と家族に説明し、納得を得た上で、かかりつけ医の変更をされている。毎週1回往診があり、受診結果は、個別記録と申し送り共有が図られ、家族には、緊急時の場合は連絡をされている。</p>	

31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>訪問看護ステーションと契約を結んでおり、週1回訪問していただき職員が利用者の状況など細かく伝え処置や指導を受けている。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は入院先との情報提供をし、職員の面会を行ったり、看護師から状態を聞いて家族に報告している。退院時の支援についても医療機関から指導を受けている。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化した場合、家族・医師・事業所が話し合いの場を設けるようにしているが、地域の関係者とは共に取り組んでいない。</p>	<p>重度化に伴い、意向がずれない様に、利用者や家族のニーズを汲み取りながら、家族、医師、管理者の三者で話し合い、方向性を決めている。看取りは、数件経験されており、他の利用者への影響も踏まえて対応を検討されている。</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>定期的に法人で緊急時や初期対応について勉強会や研修を行っている。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>避難訓練は行っているが、水害等の訓練は行っていない。地域との協力体制は築いている。</p>	<p>消防署指導の下、年2回昼夜想定で法人内3事業所合同の避難訓練を実施された。今迄地域住民の参加はないが、有事の際は、近隣の2軒に協力をお願いされている。また、避難経路に障害物はなく、台所の他、乾燥機やコード等、火元になりそうな物には、注意を払っている。備蓄は発注中である。</p>	<p>消防署の指導も仰ぎながら、利用者個々の状態を踏まえ、有事の際は、どのような避難体制をとるのか、早急に具体的な方向を定め、仕組みを整えられる事に加え、地震、風水害への備えと訓練にも期待したい。</p>

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉の虐待など職員に説明し、職員も心掛けて対応している。個人情報も入社時に書面で説明し、書類も漏れないよう管理している。	馴れ合いの中で、尊厳を無視した対応になっていないか職員同士で注意しあい、気を付けるようにされている。トイレ誘導や失禁時には、周りに気を使い、対応されている。
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々過ごす中で職員が心掛けて自己決定できるよう支援している。	
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	希望に沿って支援していくようにしているが、職員の業務に合わせてもらっている部分もある。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時・入浴前など職員と一緒に衣類など選び、おしゃれできるように支援している。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員は利用者と共に食事はしていないが、準備など個々の能力に合わせてできる事は職員と一緒にやっている。	旬の食材の使用で彩も考え提供されている。法人内の栄養士に献立を見てもらい、利用者の状態に応じて塩分の加減を調整し、安心して、楽しく食べられる様に配慮されている。また、利用者の希望により、茶わん蒸し等がテーブルに並ぶ事もある。
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士に食事内容を見てもらいその人の病気などふまえた上で調整している。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後職員が口腔ケアを促し出来る限り本人にさせていただいていますが、不十分な部分は職員が介助している。	

43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>ウロシートを作成し、オムツは極力使用しないよう職員が時間を見ながら排尿・排便を促している。</p>	<p>排泄パターンを把握し、時間を見計らって、昼間はトイレ誘導をされている。尿意のない利用者はおむつ使用ではあるが、なるべく減らす方向で支援されている。リハビリパンツに尿とりパットをしていた方が、夜間コールにてトイレ誘導になる等、改善された例がある。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>栄養士・看護師などと相談し消化に良い物や腹部マッサージなど行っている。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>時間や曜日は決めていないが、利用者の希望に合わせて行っている。入浴したほうが良いと思われる時は、説明し入浴していただいている。</p>	<p>年間を通して夜間以外は入りたい時に利用可能である。希望により、同性介助や、利用者の状態に合わせて職員2名で介助される事もあり、利用者は安心してくつろいだ気分で入浴を楽しまれている。入浴チェック表をつけ、清潔保持に努められている。</p>	
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>昼夜逆転が無いよう日中は活動を促している。希望に沿って休憩もしていただいている。</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>利用者ごとに薬情報を作成し、服薬時は職員が手渡し、服薬出来ない利用者には職員が介助している。</p>		

48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>個々の能力に合わせ出来る範囲で支援している。</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>行事等で外出する機会は少ないが、天気の良い時は散歩を行っている。家族の方にも外出等連れて行っていただくよう働きかけている。</p>	<p>1週間に3日位ホームの近くを散歩される利用者もある。近くの大門松を見物に行ったり、家族の協力により外出される事もある。暖かくなったら、全員で花見に行きたいと話されている。</p>	
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>本人・家族の同意を得て事業所で管理している。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>いつでも電話できるよう支援している。年賀状など職員が付き添い書いてもらったりしている。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>食事の時など利用者の関係に合わせ席を決めている。季節に合った食材などの工夫をし季節を感じながら過ごしていただくよう支援している。</p>	<p>利用者は多くの時間を食堂兼リビングで過ごされることも多い。リビングは広くはないが、調理の匂いや庭に干された洗濯物が見え、家庭的な雰囲気である。温度調整がされ、利用者はゆっくり寛いでいる。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>長椅子や玄関先にベンチを置き利用者同士で過ごせるよう工夫している。</p>		

54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所時に馴染みのある家具など持って来ていただくよう説明している。	テレビや使いなれたタンス等、思い出のある物が持ち込まれ、慣れ親しんだ生活様式が守られ、その人らしく生活されている様子が窺える。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりを設置したり、テーブルなど利用者に合わせて変更したりしている。		

アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
		2, 数日に1回程度ある
		3, たまに
		4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
		2, 少しずつ増えている
		3, あまり増えていない
		4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
		2, 職員の2/3くらいが
		3, 職員の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
		2, 家族等の2/3くらいが
		3, 家族等の1/3くらいが
		4, ほとんどいない